

グリーティング

今年は短い梅雨があっという間に過ぎ、大暑の時期になりました。

そもそも、大暑とは二十四節気の1つ。二十四節気とは、1年を二十四に分け、季節の指標となる大切な暦。その1つを更に3つに分けた「七十二候」というものがあります。5日ごとに「初候」「次候」「未候」として、3~4文字の短い言葉で表した季節の告知板の様なものです。

大暑にはそれぞれ

「初候」桐始結花「きり、はじめてはなをむすぶ」桐が天に向かって花を咲かせ、卵形の実をつける頃

「次候」土潤溽暑「つち、うるおうてむしあつし」熱気がまとわりつき、蒸し暑さが増す頃

「未候」大雨時行「たいう、ときどきにふる」時に激しい雨が襲い、ムクムクと入道雲が沸き上がると夕立のサイン

この様に、二十四節気には、細かく季節が表されています。

S.K



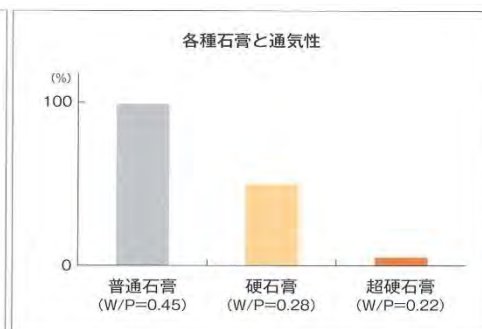
技工情報

◎ ナイトガード

* 模型の材質として

- ・普通石膏
 - ・硬石膏
 - ・超硬石膏
- があります。

これらには、強度と通気性に相関関係があります。



石膏の種類と通気性。感覚的にも理解できるであろうが、普通石膏が最も通気性が良く、固く締まるほど（硬石膏<超硬石膏）強度が上がると通気性は落ちる

製作方式としては、吸引成形と加圧成形がありますが、いずれにおいても、模型の多孔性に依存した気圧の変化を成形原理としています。

弊社においては、加圧成形方式ですので、模型自体の強度が重要となります。

普通石膏ですと、加圧の際、模型の破折の可能性があるため、硬石膏以上の模型が好ましくなります。アルジネート印象の際は、超硬石膏ですと面粗れを起こしてしまうので、硬石膏で模型製作をお願いします。

シリコン印象では、面粗れの恐れがないので、超硬石膏の使用も可能となります。

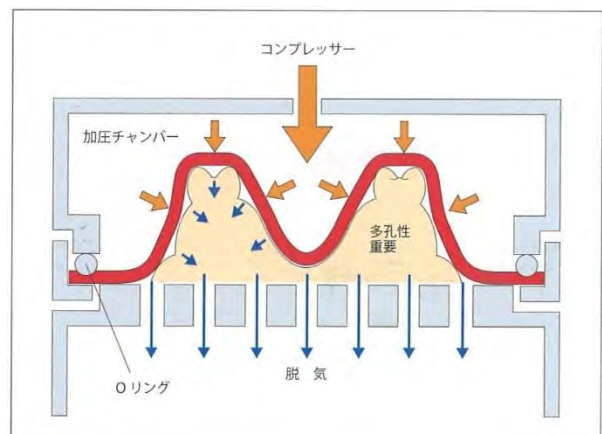
又、どちらの印象でも、普通石膏では、強度的に脆く加圧の際、模型が破折してしまう可能性があるため、避けてください。

<加圧成形方式の特徴>

軟化されたシートを上側より加圧することで、模型に圧接する方式になります。

特徴として、模型を介する陰圧成形方式と異なり、シート側から直接、模型表面へ加圧するので、

鼓形空隙、歯頸部などへの細部まで適合した物となります。



加圧成形のイメージ。コンプレッサーによる空気圧でシートを模型に密着させる。余分な空気が逃げるために、模型の多孔性が重要となる